

3 学年 特別活動学習指導案

日 時 平成18年10月27日 3校時
生 徒 雫石町立雫石中学校 3年4組
(男子21名、女子16名、計37名)
場 所 3年4組 教室
授業者 教 諭 三浦 亜紀江
警察官 千葉 義晴

1 題材「薬物乱用の社会的影響」

2 題材設定の理由

現代社会において、中学生の時期にも喫煙・飲酒・薬物乱用の危険性が増しており、緊急に対策を講じることが求められている。特に「薬物乱用」に関しては、全国で中・高校生の薬物に関わる犯罪が多発しており、安易に手に入れやすい現実が社会問題にもなっている。

生涯にわたって健康でたくましく生きる生徒を育成するためには、薬物乱用によってもたらされる健康への影響や様々な問題について、早い時期から理解させていくことが大切であると考えます。

3 生徒の実態

行事や授業など何事にも一生懸命取り組もうとする生徒が多い反面、自分なりの目標をもてず、意欲をもてない生徒もいる。授業などの教師の話をしっかりと聞き理解しようとする素直さや、最上級生としての自覚も出てきており、全体的には落ち着いている。

1・2年生で飲酒や喫煙について学習してきているが、薬物については、事前アンケートの結果からも、薬物が社会生活に与える影響やどのような状態で逮捕・補導されるのかなどあまり理解していない。

4 本時について

(1) 本時の目標

薬物乱用が、自分自身や社会に与える悪影響について理解する。

(2) 授業の構想

事前に薬物に関する調査を行い、実態を把握する。

初めにグラフから薬物犯罪の検挙数やMDMAについて確認させる。次に警察官による薬物乱用の社会的影響についての講話を聞かせ、自分の考えと実際に社会で起こっている犯罪との違いを考えさせたり、様々な問題に関連したりしていることを理解させる。

大多数の生徒は、自分には関係ないという考えを持っていがちだが、実は身近なところで起こりうる大変危険な状況であることを理解させ、自分なりの考えをもち、薬物の誘いに対して断る意欲をもたせたい。

(3) 展開

過程	学習指導の内容	生徒の活動	指導・援助の留意点
導入 5分	1 薬物犯罪の検挙数についての確認	1 薬物犯罪の検挙数について確認。 (1) グラフから分かること (2) MDMAについて	・講師紹介 ・薬物犯罪の検挙数 MDMA統計を準備
展開 25分	2 学習課題	2 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> ・薬物乱用が自分自身や社会に与える悪影響について理解しよう。 </div>	・薬物で検挙される理由や法律との関わりを考えさせる。
	3 薬物乱用の社会的影響を理解する (警察官)	3 薬物乱用の社会的影響についての講話を聞く。 ・薬物犯罪検挙補導状況 ・薬物乱用と犯罪(中・高校生の実態) ・自分自身と社会生活に与える影響 ・薬物乱用から身を守るための3か条	・警察官が薬物乱用の社会的影響等について説明する。 ・薬物を乱用すると、心身に与える影響から、凶悪事件や事故に結びつくことを知る。 ・家庭の役割について知る。
終末 20分	4 薬物乱用の社会的影響についてまとめをする	4 ・薬物乱用問題に対して自分自身の考えや感想をもち、班毎に意見交流をした後、代表者が発表する。	・意見交流をすることにより、薬物乱用問題について自分の考えをもち、自分の意志で薬物の誘いに対して断る意欲をもたせる。

7. 評価

- ・薬物乱用が、自分自身や社会に与える悪影響について理解することができたか。

「薬物乱用の社会的影響」

3年 _____ 組 _____ 番 氏名 _____

学習課題

薬物乱用が自分自身や社会に与える悪影響について理解しよう。

講話のまとめ

自分自身に与える悪影響	社会に与える悪影響

自分の考えを書こう

考え

理由

意見交流（みんなの意見を聞いて）
